

科 目 名		必修・選択	単位数	類型
論理国語		必修	2	共通
教科書	探求 論理国語（桐原書店）			
副教材等	語彙力をつける入試漢字 2600（筑摩書房）			

1 学習目標

一年次に学習した「現代の国語」における近・現代の文章に学習内容を発展させ、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付ける。それとともに、近・現代の文学や価値観に対する理解を深められるようにする。
- (2) 論理的に考える力を身に付けたり、文章構造や展開方法を理解したりすることを通し、他者と関わり伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
- (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

2 学習概要

実社会に必要な国語の知識や技能を身につけ、論理的、批判的に考える力を伸ばしていく科目です。創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり、高めたりすることを目指しています。近現代の論理的な文章や現代社会で必要とされる実用的な文章を読みながら、表現する力を高めます。

3 学習方法

- (1) 授業への取組
授業は、教材について読み考え記述し、そして発表する場です。教師が板書することをノートに書き写すだけでは意味がありません。生徒の皆さん一人一人が積極的に授業に参加することが期待されています。

- (2) 家庭学習
授業で扱う教材については事前に通読し、読めない漢字や意味の分からない語句については辞書で調べておきましょう。事前に通読・意味調べ等をするのとならないのでは、理解に大きな差が生まれます。また、語彙力と読解力を強化するためには、日常的に活字に触れることが大切です。画像や動画といった視覚刺激に慣れすぎると、思考や発想が鈍くなります。ぜひ日々の読書を日課としてください。

4 評価について

- (1) 評価方法
「知識・技能 (①)」、「思考力・判断力・表現力 (②)」、「学びに向かう人間性 (③)」の3観点で評価を行います。
具体的に評価方法以下の通りです。
 - ・定期考査（中間・期末考査）……………①、②
 - ・小テスト……………①、③
 - ・授業に対する姿勢や態度……………②、③
 - ・発問に対する発表内容……………②、③
 - ・課題や提出物等の提出状況・内容・発表方法……………①、②上記の項目を勘案し、単元及び学期、学年の評価とします。

(2) 評価規準

	知識・技能 (①)	思考力・判断力・表現力 (②)	学びに向かう人間性 (③)
評価基準	生涯にわたる現実社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、実社会に必要な国語の知識や技能を身に付け、適切に使用しようとしている。	論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者と伝え合う力を高め、思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深め、読書に親しみ自己を向上させ、言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

5 学習計画

学期	単 元 名	学習のねらい（内容のまとめごと）	考查等
一 学 期	【評論Ⅰ】 ・いのちは誰のものか？（鷺田清一） 晴れた空の下で（江國香織）	・論理展開が明快な文章を読んで、評論の基本的な読み方を習得する。また、「共感」「ともに生きる」という観点から人間の存在についての思索を深める。	到達度テスト
	【評論解析A】 ・「可能性」としての貨幣（西部忠）	・評論の基本的な読み解き方を習得し、論理構造を把握した上で筆者の考えの核心を理解する。	中間考查
	【評論Ⅱ】 ・動物の信号と人間の言語（大庭健） 行動としての話し言葉（竹内敏晴）	・文章の構成や論の展開に注意しながら、評論文の内容を的確に捉えるとともに、人間の言葉の可能性について、幅広い視野から考えを深める。	期末考查
二 学 期	【評論Ⅲ】 ・イスラム感覚（藤原新也） ・木を伐る人／植える人（赤坂憲雄） なめとこ山の熊	・文章の構成や論の展開に注意しながら、評論文の内容を的確に捉えるとともに、異文化理解と自然との共生の困難さについて考える。また、参考「〈知〉の深化」を通して、自然と人間の関係を見つめ直し、思索を深める。	到達度テスト
	【評論Ⅴ】 ・暴力はどこからきたか（山極寿一） ・「である」ことと「する」こと（丸山真男）	・文章の構成や論の展開に注意しながら、評論文の内容を的確に捉える。また、人類学・社会科学の知見を基に、共同体についての考えや、「民主主義」「自由」「近代化」などの普遍的な主題への理解を深め、日本の近代化の問題点を現代の課題として捉え直す。	中間考查
	【評論Ⅰ】 ・オブジェとイマージュ（高階秀爾） ・アノマロカリス（松浦寿輝）	・文章の構成や論の展開に注意しながら、評論文の内容を的確に捉えるとともに、芸術における視覚的映像の重要性、人間の美学への理解を深める。さらに、参考「〈知〉の深化」を通して「人間が生きること」の意味についての思索を深める。	期末考查
三 学 期	【評論解析C】 ・メディアと民主化（佐藤卓己）	・評論の基本的な読み解き方を習得し、論理構造を把握した上で二つの文章を読み、その論旨を比較して考えを深める。	
	【評論Ⅱ】 ・市民社会化する家族（今村仁司）	・文章の構成や論の展開に注意しながら、評論文の内容を的確に捉えるとともに、近代化・都市化によって生じた家族や人間の存在についての認識や考察を深める。	学年末考查